



皆さん、新年も明けてはや3週間になろうとしています。いかがお過ごしでしょうか？さて今回の冒頭写真は、先日の「高尾山 de 初詣」の際に、高尾山山頂の大見晴台で撮った一枚です。午後までこんな富士山がみえるなんて、とてもいい天気でした。多くの方の参加いただき、山頂ぜんざいを楽しむことができました。ありがとうございました。

さて、遅くなりましたが3月の確定表をお送りします。低山の3月は、花の季節です。まずは、秩父・堂上のセツブンソウ園です。日本有数の規模の自生地です。清楚な白い花を見て心を整えましょう。長渕山から吉野梅林、丹沢の不動尻のミツマタ群生地、狭山丘陵のカタクリと東京近郊の花旅シリーズです、今月の高尾山は「毎週歩く高尾山」と名付けて、「毎週歩く」シリーズを12日(木)、16日(月)、24日(火)に予定しています。ハナネコノメから始まって各種のスミレを探して歩きます。都合つく日程、企画がありましたら、是非ご検討ください。お申し込みをお待ちしています。

ところで、唐突な衆議院解散劇です。前回の衆議院選挙は、2024年10月27日でしたからまだ1年数ヶ月ほどしか働いていません。おまけに昨年の7月に参院選、その後の石破降ろし騒動が10月まで続きました。この1年余りの間、3回の国政選挙と自民党の石破降ろしのゴタゴタと総裁選挙です。やっと暮れの臨時国会で補正予算が成立し、年明けの通常国会で政策論戦が始まる矢先の解散です。国會議員の任期は4年です。2024年の選挙で国民の審判を受けたのですから、選挙ばかりしていないでしっかりと任期いっぱい仕事をしてもらいたいと思うのは僕だけでしょうか。それとも、選挙の結果が気に入らないからといって、時の首相が好きな時に解散できるということでしょうか。1年数ヶ月前の選挙で示された、民意はそんなに軽いものだったのでしょうか。

高市首相の解散記者会見では「高市早苗を選ぶのかどうか」と、政策ではなく「自分を選んで」といった内容でした。「政治と金」の問題はどこ吹く風です。まるで国政選挙が信任投票か人気投票かと勘違いしてしまいそうな内容でした。高市首相の「国論を二分するような政策」とは何なのか。国会の場で存分に議論を戦わせ、国民の前に披露いた上で審判を求めるべきでしょう。それもなしに自分を選べというのは、後は自分の好きにやらしてもらうというまるで「全権委任状」を求めているのではと危惧するばかりです。アクセラばかりの高市十維新の連立与党は、日本をどこに導こうとしているのでしょうか。

最後に、僕はこの解散を「高市の自己中解散」と名付けたいと思います。

* 4月にも高尾山の「毎週歩く」シリーズを計画しています。

それでは皆さん、また山でお会いしましょう！